

犬の門蓋：野犬、めがね岩、ザトウクジラ

海岸のこの地域は、奄美群島の大部分を包含する奄美群島国立公園の一部です。「dog」という意味である犬の門蓋の最初の漢字は、かつてはこの地域を徘徊していた野犬の群れに由来すると考えられていましたが、現在はこの説には根拠がないとされています。古代の隆起サンゴ礁が形成した岩や崖の奇妙で不思議な形状で有名です。犬の門蓋という名称の真の起源は不明です。

この場所の崖は、石灰岩礁を地面から突き上げた地震隆起によって 100～150 万年前に形成されました。時間の経過とともに、風雨による浸食が崖面を異様な形やごつごつした突起に彫刻しました。

めがね岩 (eyeglasses rock) は、崖面の二つの海食アーチが結合して一つになったもので、形が眼鏡に似ています。めがね岩からは、完璧な構図に収まる東シナ海の景色が望めます。特に入り日の景色は印象的です。きのこ岩 (mashroom rocks) は、海岸線にある岩の一群で、まるで地面から生えているように見えます。波が下部を侵食し、草に覆われた丸い上部が残りました。コンクリートの歩道がこれらをはじめとする岩石群へと続いています。階段の一部は比較的急で上り下りが大変なので注意してください。

この地域は、特に 1 月から 3 月にかけて、ザトウクジラが現れることで知られています。